

新基地建設反対名護共同センターニュース

“私人”が海を埋め立て基地を造れるか 県民大行動で違法・無法な手口を批判



生健会のみなさん ゲート前集会と抗議船へ

沖縄県生活と健康を守る会（生健会）のみなさんは1日、20名余で辺野古ゲート前の県民集会に参加。この後、浜のテントでの連帯行動（写真）。続いて汀間漁港から抗議船に乗船し、大浦湾で「違法工事は中止せよ」と抗議の声を上げました。（協力・中村重一氏）



米軍辺野古新基地建設反対！米軍普天間基地の即時閉鎖・無条件返還を求める辺野古大行動が12月1日、キャンプ・シユウブゲート前で開かれ、約千人が参加しました。主催者を代表し、オール沖縄会議の高良鉄美共同代表が「国は“私人”に成りすまし、あくまで米軍基地建設を進めようとしています」、「私人」が海を埋め立て基地を造れますか」と安倍政権の違法・無法な手口を厳しく批判しました。大行動では、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員、社民党の照屋寛徳衆院議員、「沖縄の風」の伊波洋一参院議員、県議会与党各会派代表があいさつ。最後は、「オール沖縄会議」の高里鈴代共同代表のリードで「今こそ立ち上がろう」を参加者全員で腕を組んで大合唱、団結の決意を新たにしました。

緊迫

名護市安和の港から搬送許すな！
防衛省14日に土砂投入方針

“違法な土砂搬送を中止せよ” 琉球セメント港での抗議にも参加を！

沖縄県名護市の辺野古新基地建設を巡り、岩屋毅防衛相は3日午前、埋め立て土砂を今月14日にも投入する方針を明らかにしました。防衛省沖縄防衛局は3日、名護市安和の琉球セメントの港の棧橋を使って、埋め立て土砂の積み込み作業を開始、1隻は辺野古に向かいました。住民らは午前6時から抗議を開始70人が参加。機動隊に拘束されながらも抗議行動を展開しました（写真下）。この日、約20台のダンプが土砂を搬入ベルトコンベアで埠頭に停泊する船に積み込まれました（写真右）。同港での座り込みは連日午前6時から午後5時まで行われます。カヌーでの抗議も予定しています。



東京・豊島区 沖縄問題で緊急学習交流会開く

東京・豊島区の「辺野古・高江の会」としまは1日、選挙直後から工事再開に動き出した安倍政権への抗議の意志をこめて、豊島区内で緊急学習交流会を開きました。名護共同センターの早坂義郎氏（写真）が知事選勝利までの劇的な闘いについて報告、玉城デニー知事勝利の意味の大きさを強調しました。写真家の嬉野京子さんは米軍占領時代からの取材を通じ、沖縄の人たちがどんなに厳しい戦いをくぐってきたか、感動的に話しました。2月の県民投票にも本土からも支援・連帯を強め、安倍政権に打撃を与えなければと痛感した交流会となりました。（通信・Kさん）

